

あなたの命にかかわる速報です。

平成19年10月1日スタート！

緊急地震速報



地震に備えましょう

「沖縄は地震が少ない」「沖縄では大きな地震は起こらない」と思っている人は多いでしょうか？ しかし、それは誤った認識です。沖縄付近では、体に感じない地震を含めると一年間に7,000～8,000回の地震が発生しています。また、今年7月16日に起きた新潟県中越沖地震(マグニチュード6.8)クラスの大きな地震も起きています。日頃から建物の耐震補強や家具が倒れないように工夫をして地震に備えましょう。

「緊急地震速報」はじまります！

気象庁では、平成19年10月1日から、地震の強い揺れを感じる前にテレビやラジオ、携帯電話などでお知らせする「緊急地震速報」を始めます。強い揺れが始まる数秒から数十秒という短い時間であっても、学校や職場、集客施設などにおいては、倒れてきそうな家具や書棚などから離れ、丈夫な机の下に避難することにより身を守ることができます。

また、台所などの火の始末を行うことにより火災を防ぐことができます。気象庁ホームページでは、緊急地震速報の詳細について紹介しています。アドレス：

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>

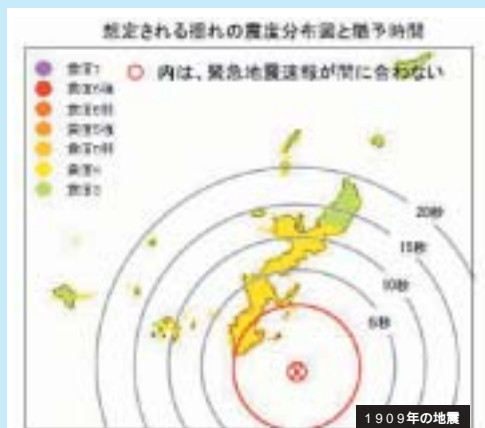
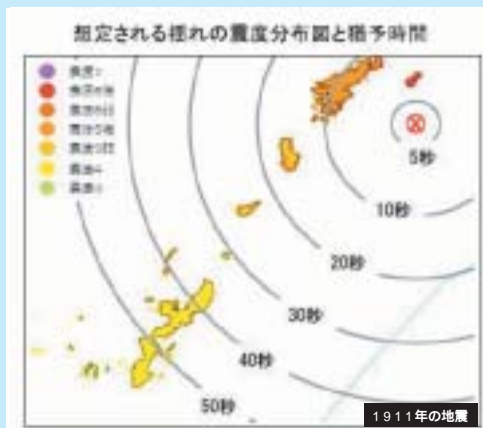
沖縄気象台の「出前講座」をご活用ください。

沖縄気象台では、沖縄県内における地震や津波の防災、緊急地震速報の理解向上のため専門の職員を無料で派遣する出前講座を実施しています。自治体や学校、地域などで防災学習の機会がありましたら活用してください。

出前講座に関する問い合わせ先

那覇市樋川1-15-15 沖縄気象台業務課 098-833-4035

過去の地震でシミュレーションすると・・・



1911年に奄美大島近海で発生したマグニチュード8.0の地震(左図)でシミュレーションすると、テレビから緊急地震速報がテロップ報知されたあと強い揺れが来るまでに、沖縄本島北部で約35秒、沖縄本島南部では約50秒の猶予があります。しかし、1909年に沖縄近海で起きた地震(右図)の場合は、本島南部では猶予時間はほとんどなく、北部でも10～20秒程度しかありません。このように震源が近い地震では、緊急地震速報は大きな揺れに間に合わないといった技術的限界もあります。

「緊急地震速報」見聞きしたときの行動は「周囲の状況に応じて、あわてずに、まず身の安全を確保する」ことが基本です。家庭や屋外、車を運転しているときなどには次のような対応を心がけましょう。

